

入場無料

ペプチドワクチン療法は第4のがん治療か

紫芳・文化
の会★
講演会

主催：紫芳・文化の会 市民のためのがん治療の会共催
日時：平成23年12月17日（土） 13:30～16:30
場所：京王プラザホテル八王子 4階 錦
京王線京王八王子駅下車徒歩3分 /JR 八王子駅北口前

二人に一人はがんになり、三人に一人ががんで亡くなる時代です。毎年がんに罹る約70万人のうち、3大療法（手術、放射線、抗がん剤）で治る方は半数で、約半数の方は残念な結果になります。では、3大療法で治らなかった患者は？ 結局、薬をもすがる思いで効果のはっきりしない、しかも極めて高額の治療や健康食品に救いを求めることとなります。

多くの治療法の中で、EBM（科学的な証拠に基づく医療）に基づく第4のがん治療法として期待されているペプチドワクチン療法とはどのようなものか？ 「いわゆる免疫療法」と言われる治療法とはどこが違うのか？ 世界的ながんの基礎研究のトップリーダーの中村祐輔博士（東大医科学研究所教授、内閣官房参与、内閣官房医療イノベーション推進室長）の下で研鑽を積まれている気鋭のがん研究者の醍醐 弥太郎 滋賀医科大学教授に、ペプチドワクチンの今を伺います。

13:00～	受付開始
13:30～13:40	開会挨拶「紫芳・文化の会」会長 青木 久（府立式中39期）
13:40～14:45	「ペプチドワクチン療法は第4のがん治療か」 滋賀医科大学医学部教授 醍醐 弥太郎（立高39期）
14:45～15:00	休憩
15:00～15:30	対談「ペプチドワクチン治療ア・ラ・カルト」 滋賀医科大学医学部教授 醍醐 弥太郎（立高39期） 市民のためのがん治療の会代表 會田 昭一郎（立高12期）
15:30～16:25	質疑応答
16:25～16:30	閉会挨拶「紫芳・文化の会」相談役 熊沢 健（立高6期）

都合により、日程、講師等に変更のある場合もございますのでお含みおきください。
申込不要。直接会場へお越しください。本講演会の問い合わせ先：090-3138-9165 會田まで



醍醐 弥太郎氏（立高39期）

滋賀医科大学医学部腫瘍内科 教授・腫瘍センター長

平成10年山梨医科大学大学院医学研究科博士課程修了後、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター、英国ケンブリッジ大学腫瘍学部研究員、英国ケンブリッジ大学アデンプルックス病院臨床腫瘍内科医員、英国ケンブリッジ大学ウルフソンカレッジシニア学術員、東京大学医科学研究所助手、東京大学医科学研究所准教授などを経て平成21年より滋賀医科大学医学部に勤務し、現在に至る。

【主な専門資格等】日本臨床腫瘍学会（指導医）、日本がん治療認定医機構（教育医）

【その他】日本癌学会評議員、日本臨床腫瘍学会評議員、日本人類遺伝学会評議員

★紫芳・文化の会は、一般社団法人紫芳会会員の有志が、紫芳会の文化活動の支援を行うと共に、紫芳会会員および本会会員のより活発かつ広範な交流を図り、その充実と発展に寄与し、あわせて広く多摩地域の文化活動に貢献する事を目的として設立した団体。会長は青木久・元立川市長、相談役は熊沢健・くまざわ書店会長